

仙人通信 121 経ヶ岳 (663m)

経ヶ岳は宮ヶ瀬ダムと愛川町田代の間で、先の仙人通信の仏果山の南に位置し、我が家の窓越しに望める山である。

国道 412 号近くにある半僧坊勝楽寺の駐車場に車を置かせて頂いてのピストンである。

この田代地区と経ヶ岳を結ぶコースは、関東ふれあいの道としても有名である。

国道の平山坂の途中にある道(ドウ)の入沢の道標からの林道だ。

黄色いクサノオウやヘビイチゴ・紫のヤマエンコザクが咲く道を進む、瀬音を聞き・ホトトギス・コジュケイ・ヒヨドリ・キバシリ等の鳥たちも初夏を告げている。数か月ぶりに山に入れた喜びが湧いてきた。

林道に入り 10 分程で堰堤が現れる。右側を巻く様に階段を登ると、更に一段の堰堤である。

紫色のオカタツナミソウも満開である。その後、沢を左に渡り進むと赤紫のハンショウズルの花との御面会である。やがて尾根道となり、そこまで杉林から檜林となる。北面は青木や檜等の落葉樹である。15 分程で最初の見晴台だ。海老名のツインビルが目に入るも霞が掛かりはじめた。

頭上では、トンビが鳴きながら円を描く、天気予報通り明日は雨らしい。

白いザリコミ・ヒメウツギ・フタリシズカ、そして黄色いニガナ・そしてマムシソウの花も加った。紫色のヒメハギとヤマドリソウを少し大きくした花を発見、カメラのシャッターを切る。

山の東面で見晴の良くない檜林の中を進むこと、20 分で半原越えの林道に出る。林道の崖にはオレンジ色のツツジが見事だ。そうそうこの地質は、愛川―藤の木断層と西に煤ヶ谷―牧目断層に挟まれた地帯で泥岩質に富んでいる。オニオンストラクチャーも見られる。

林道を 100m 程北に進み、柵の付いた急な登りとなり 15 分程で、北側にネットの張られた尾根だ。赤いヤマツツジ・白いコアジサイ・ガマズミの花が満開である。尾根には小さなピークが 2 つあり、檜の間から厚木の街が望める。春先に黄色い花を付けるナニワズ・緑に白い符の入ったイズカンアオエの葉が新鮮である。20 分程で山頂直下の蓮華山の分岐である。白いギンランが迎えてくれたのは嬉しかった。山頂 (633m) には、ガイド地図にある 1 時間 30 分と同じ時間で到着だ。

山頂は西側が切り開かれ、鐘ヶ岳・大山・三峰山・辺室山・奥に塔ヶ岳・丹沢山・太礼ノ頭等から高畑山そしてその奥に蛭ヶ岳や焼山へ繋がる尾根で、丹沢全体が望める。

ベンチの下では赤いヤマツツジが満開である。

山頂でゆっくり休憩をし、ウッドピッチを吸い込み元気をもらい下山に着いた。

下山中に山椒の芽や蕨を掴み、持ち帰り初夏の夕飯の 1 品とした 3 時間の山旅でした。(H26.5.20)

山頂

オカタツナミソウ

ハンショウズル

